



いせん

伊仙町議会だより

第30号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷



写真提供：遠藤 智氏

「祝・第54回奄美群島市町村議会議員大会」開催記念闘牛大会
「徳之島地域文化情報発信施設整備事業」で全天候型建設が予定されている
東目手久闘牛場で、徳之島の魅力を発信しました。

目 次

- 平成23年第1回臨時会・定例会議決結果・陳情一覧…………… P 2
- 平成23年度一般会計他特別会計予算（歳入・歳出グラフ） …… P 3
- 平成23年度一般会計他6特別会計予算審査特別委員長報告 …… P 4
- 議員派遣予定表…………… P 5
- 第54回奄美群島市町村議会議員大会 …… P 6～7
- 一般質問…………… P 8～11
- お願い・議会のうごき・編集後記…………… P 12

平成23年 第1回伊仙町議会臨時会 全議案(会期2/14)

番号	議 案 等	採決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補の推薦につき意見を求めることについて	可 決
同意第1号	伊仙町教育委員の選任について	可 決
議案第1号	伊仙町光をそそぐ雇用創出基金条例の制定	可 決
議案第2号	平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第3号	平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第4号	平成22年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第5号	平成22年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決

平成23年 第1回伊仙町議会定例会 全議案(会期3/8~18)

番号	議 案 等	採決結果
議案第6号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第7号	伊仙町長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第8号	伊仙町職員の特殊勤務手当等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第9号	伊仙町特別会計条例の一部を改正する条例	可 決
議案第10号	伊仙町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第11号	伊仙町辺地総合計画策定	可 決
議案第12号	奄美群島広域事務組合の共同処理する事務及び奄美群島広域事務組合規約の変更	可 決
議案第13号	平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第14号	平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第15号	平成23年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議案第16号	平成23年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第17号	平成23年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第18号	平成23年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第19号	平成23年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議案第20号	平成23年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第21号	平成23年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決
議案第22号	伊仙町地域情報通信基盤施設の設置及び管理に関する条例の制定	可 決

平成23年 第1回伊仙町議会定例会 陳情・発議一覧

番号	議 案 等	採決結果
陳情第1号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	文書配布
陳情第2号	要望書(公共嘱託登記に関する要望書)	採 択
発議第1号	行財政調査特別委員会の設置について	可 決
発議第2号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書について	可 決

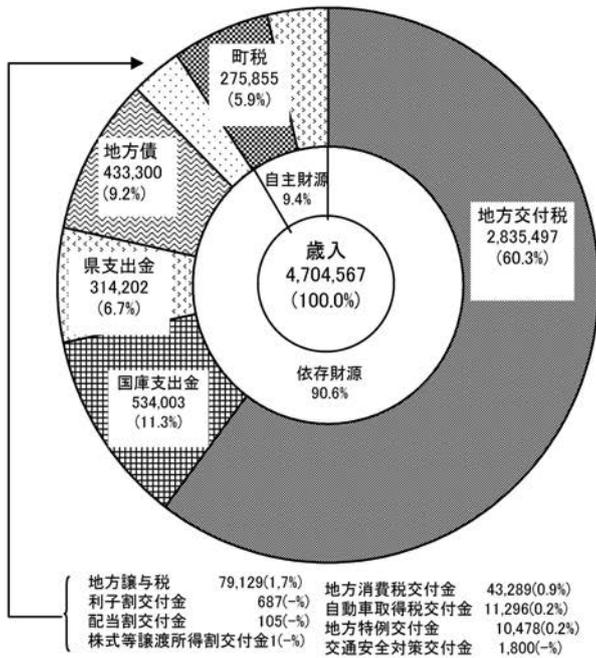
平成23年度一般会計予算 47億457万円

(前年度と比較して9.8%の増です。)

科目別歳入状況

(単位：千円)

繰入金	1	(-)
諸収入	47,486	(1.1%)
使用料及び手数料	43,751	(0.9%)
繰越金	1	(-)
分担金及び負担金	66,397	(1.4%)
財産収入	7,187	(0.2%)
寄附金	102	(-)

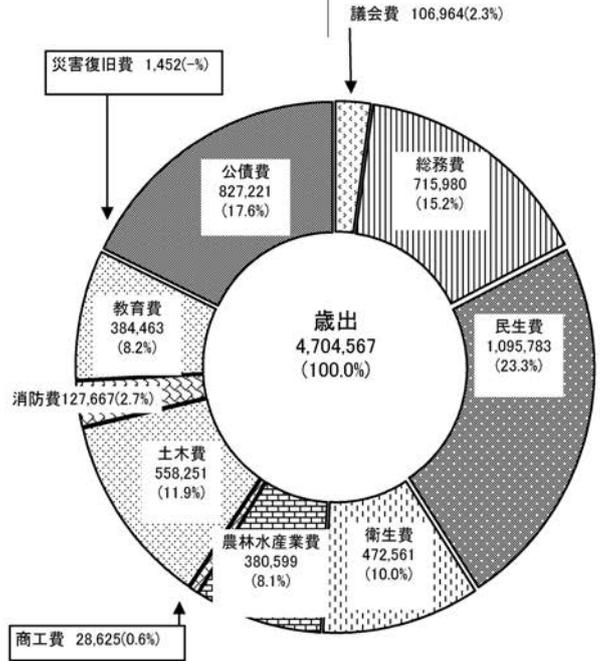


地方譲与税	79,129	(1.7%)
利子割交付金	687	(-)
配当割交付金	105	(-)
株式等譲渡所得割交付金	1	(-)
地方消費税交付金	43,289	(0.9%)
自動車取得税交付金	11,296	(0.2%)
地方特例交付金	10,478	(0.2%)
交通安全対策交付金	1,800	(-)

科目別歳出状況

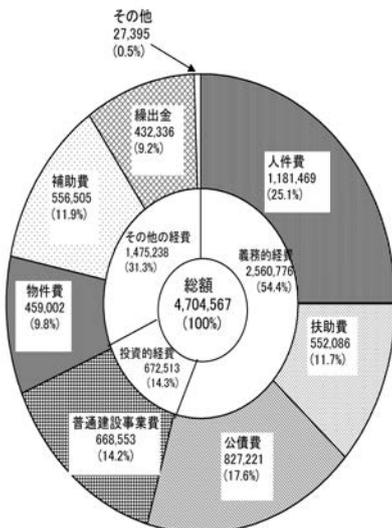
(単位：千円)

諸支出金	1	(-)
予備費	5,000	(0.1%)



性質別内訳

(単位：千円)



一般会計性質別歳出内訳

(単位：千円)

科目	予算額	構成比	科目	予算額
1 人 件 費	1,181,469	25.1	5 補 助 費	556,505
(1) 議員委員等報酬手当	91,354	1.9	(1) 国 及 び 県	639
(2) 特別職の給与	24,774	0.5	(2) 一部事務組合	327,550
(3) 職 員 給	713,116	15.2	(3) そ の 他	228,316
(4) 職員共済組合負担金	207,467	4.4	6 普通建設事業費	668,553
(5) 退職手当組合負担金	143,858	3.1	(1) 補助事業費	525,955
(6) 災害補償費	900	0.0	(2) 単独事業費	76,998
(7) そ の 他			(3) 県営事業負担金	65,600
2 物 件 費	459,002	9.8	7 災害復旧事業費	1,452
(1) 賃 金	90,392	1.9	(1) 補助事業費	
(2) 旅 費	48,953	1.0	(2) 単独事業費	1,452
(3) 交 際 費	900	0.0	8 公 債 費	827,221
(4) 需 用 費	97,056	2.1	(1) 元利償還金	825,221
(5) 役 務 費	26,122	0.6	(2) 一時借入金利息	2,000
(6) 備品購入費	5,454	0.1	9 積 立 金	101
(7) そ の 他	190,125	4.1	10 投資及び出資金	1,560
3 維持補修費	14,282	0.3	11 貸 付 金	5,000
4 扶 助 費	552,086	11.7	12 繰 出 金	432,336
			13 予 備 費	5,000
			歳 出 合 計	4,704,567

平成23年度各特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険特別会計予算	1,174,482
介護保険特別会計予算	892,749
後期高齢者医療特別会計予算	157,150
徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	78,982
簡易水道特別会計予算	268,330
上水道事業会計予算	90,635
合 計	2,662,328

平成23年度伊仙町一般会計他6特別会計予算審査会委員長報告

○委員長報告

ご報告を申し上げます。

当予算審査特別委員会に付託されました、平成23年度伊仙町一般会計予算及び6特別会計予算について、3月11日、14日、16日の3日間予算審査特別委員会を開きました。

その審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

今回から、各項目ごとに執行部に十分説明させた上で、予算書を1ページずつ確認していきました。その結果、委員からたくさん質疑がありました。

まず、一般会計当初予算についてですが、住宅使用料について、高額滞納者が存在し、その対策として差押さえ、退去命令等、訴訟に向けて準備中であり、町長からも強力に実施していくとの答弁がありました。保育料についてもさらなる努力をするよう申し入れがありました。

また、土地改良分担金についても、可能であれば、法的措置を行っていくとの答弁がありました。

百菜については、貸付の必要のない運営をするよう意見が出されました。また、節内の費目についても適切な記載をするよう意見が出されました。

車のリース料については、高額であり、修理代に関しては、リース業者側に負担させるべきではとの質疑に対し、再度検討しますとの答弁でした。また、予算書の中に経費の割合、積算内訳等を記載して、もつとわかりやすくするよう要望ができました。

伊仙町総合体育館の補修に関して、現在シロアリが入っており、補修ではなく思い切った作り直す等の決断も必要ではないかとの意見も出されました。

また、提出資料については、必ず議会前に提出するようにしてください。

採決の結果、議案第15号 平成23年度一般会計予算については全会一致で原案のとおり可決されました。

続いて、平成23年度伊仙町国民健康保険特別会計予算については、平成24年度から受診率65%以上達成に向けての対策について質疑があり、推進員、看護師等を受診率の低い集落へ派遣し、役場職員に同行をお願いしたり、医療機関からのデータの提出を求める等、受診率アップに努めるとの答弁がありました。

徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算については、地方自治法第209条に照らし合わせて人件費等は、特別会計で計上すべきではとの質疑に対し、人件費を特別会計に計上していきますとの答弁がありました。

さらに、指定管理者制度に関して、質疑がありました。これに対して、来年度からの指定管理者制度を目指して努力していきますとの答弁がありました。

ほーらい館の外の清掃ができていない。また、モップ、雑巾等人目につかないところに干す等、清潔感のある施設にしていこう意見が出されました。施設内の見回りをチェック表等を作成して確実に実施していくよう意見が出されました。

ほーらい館審議会のメンバーに利用者を入れて経営者会議という感覚で実施していくよう意見が出されました。

また、百菜と電気代が一緒になっているとの質疑に対して、早急に見直しまたの答弁がありました。

上水道事業会計予算については、白井川の水の利用についての質疑があり、現在、水道課で調査中であり、1年を通じて十分に水の確保ができることが確認できれば利用していきたいとの答弁がありました。

採決の結果、

議案第16号平成23年度 伊仙町国民健康保険特別会計予算

議案第17号平成23年度 伊仙町介護保険特別会計予算

議案第18号平成23年度 伊仙町後期高齢者医療特別会計予算

議案第19号平成23年度 徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算

議案第20号平成23年度 伊仙町簡易水道特別会計予算

議案第21号平成23年度 伊仙町上水道事業会計予算

については、全会一致で原案のとおり可決されました。

最後に、東北地方太平洋沖地震により、国、県からの歳入がどうなるか予測がつかせません。事業に優先順位をつける等、行政運営に支障がないよう計画的に取り組んでください。

以上で委員長報告を終わります。

平成23年度 議員派遣予定表

派 遣 期 間			派遣目的及び派遣先	派遣議員
年	月	日		
23	4	14	議長・局長合同会（奄美市）	議長・局長
		18	幹事会（鹿児島市）	議 長
	5	10	常任委員会研修会（鹿児島市）	全議員の半数
		25	奄美群島市町村議会議員大会（伊仙町）	全議員
			各種協議会総会（奄美市）	議 長
	7	26・27	正副議長研修会（霧島市）	議長・副議長
	8	5	市町村政研修会	全議員の半数
	11	15	離島議長大会	議 長
		16	議長全国大会	議 長
		16	議長等研修会	議 長
24	1		理事会（鹿児島市）	議 長
	2		議長会（奄美市）	議 長
			市町村長・議長合同会（奄美市）	議 長
		14	定期総会（鹿児島市）	議 長

※ 派遣日が空欄になっている箇所については未定



事務局長 梶山 正二 書記 佐平 勝秀

議会事務局

議長 常 隆之 副議長 伊藤 一弘

総務文教厚生常任委員会 経済建設常任委員会

委員長 美島 盛秀 委員長 清水 善次男

副委員長 前 徹志 副委員長 琉 理人

委員 上木 勲 委員 永岡 良一

杉並 廣規 ” 明石 秀雄

” 樺山 一 ” 佐藤 隆志

” 永田 誠 ” 福留 達也

暑中見舞い申し上げます
伊仙町議会



第54回奄美群島市町村議会議員大会（伊仙町会場）盛會裡に終わる!!



▶早朝から経済課職員がこの日の為に、丹精込めて育てたたくさんのお花を前に、全議員がお出迎え。



◀当日は、養護学校分校の設置に向けて、徳之島療育研究会の皆さんも、わが子の為に現状を訴えるべくチラシ配布。

（報告）

平成23年5月24～26日の日程で行われた、「第54回奄美群島市町村議会議員大会」が旧徳之島農業高等学校校体育館で開催されました。

初日は伊仙町連合青年団の主催で「奄美群島市町村議会議員歓迎記念闘牛大会」が行われ、東目手久闘牛場に奄美選出の国会議員、県議会議員並びに奄美群島市町村長が来賓として出席され、生の闘牛大会を初めて観戦し、新しい魅力を再発見できたと大変感動されていました。

2日目は、大会当日ともあり、昨日の興奮冷めやらぬまま全議員が早朝から来場し、各議案を確認し、それぞれ意見交換などを行っている場も見受けられ、開会前から大変有意義な時間を送ることができました。

また会に先立ち、永年勤

続表彰（勤続10年以上）と致しまして、伊仙町議会から2名（上木 勲議員・琉理人議員）が大島郡町村議会議長会 町田 末吉会長（与論町議会議長）より表彰を受けました。

そして、提出議題の審議においては、徳之島地区提出議題の「旧鹿児島県立徳之島農業高等学校に大島養護学校の分校設置について」を伊仙町議会総務文教科 厚生常任委員会 美島 盛秀 委員長より趣旨説明と朗読がなされました。

主な内容としては、現在の養護学校に関する状況や関係団体、父兄の皆様による活動状況について説明がなされました。これに伴い、養護学校分校設置に向けての当面の課題を考慮し、今後も奄美全体で県議会等に強い意思表示をしていくことが全会一致で採択され、当番町としての役目を無事果たすことができました。

また、当日傍聴に来ていた、徳之島療育研究会の皆様からは大変感謝のお言葉も頂き、議会としてもひとまず安堵したところでした。

最終日は、町内行政視察を行い、その途中、奄美群島復帰の父「泉 芳朗記念像」前で、奄美群島各議員から献花を行い、各議員からも今後の奄美について更に一致団結して精進していくという気持ちを新たにしております。

このように、議会議員大会が無事盛會に終了することができたのも、町民の皆様並びに関係各団体の皆様のご理解とご協力があったこそだと思えます。

今後も本町行政並びに本議会に多大なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。議員大会の報告と致します。

島の特産品を中心に、手作りのお菓子等を休憩時間に頂いてもうろう、町長夫人、議員の奥様方、伊仙町地域女性連絡協議会、町女性職員総出で振る舞いました。



昼食は、かしゃにぎりと牛汁を振る舞い、前日から腕に自信のある男性職員が一時も鍋から目を離さず、梅雨時期の暑いなか、頑張りました。



右・永年勤続表彰者 (上木 勲 議員)
左・町田 末吉
大島郡町村議会議長会長



右・永年勤続表彰者 (琉 理人 議員)
左・町田 末吉
大島郡町村議会議長会長



開催地である伊仙町 大久保 明町 長より歓迎のあいさつ。



松田典久大島支庁長より来賓祝辞。



奄美選出の徳田 毅 衆議院議員も公務多忙な折、出席頂き国政報告を行って頂きました。



奄美選出の打越 あかし 衆議院議員は当日、委員会出席の為、美千代 夫人が代理で出席頂きました。



提出議題審議の冒頭に、常 隆之 議会議長より宣誓書を朗読。



徳之島地区が最初に趣旨説明及び議題を朗読。美島 盛秀 総務文教厚生常任委員長より養護学校分校の必要性について詳細に渡って説明をしました。



議員研修会では、元総務省大臣官房審議官の 稲村 公望 氏(天城町出身)が専門分野である情報通信についての講話を行いました。



今議員大会には総勢250名程が出席し、明日の奄美について真剣に協議がなされました。

一般質問



杉並議員

問 監査委員として専任職員が設置されなくても十分な監査をしていけるという自信が、おありかどうかお尋ねをいたします。

答 郡内ほとんどの町村で、兼任配置のようであります。現時点では、これからも現態勢で監査業務に誠意を持って努めていくつもりであります。

問 町税610万円の不能欠損消滅時効が成立したものと認めるといことですが、課税をしながら、それを行使しなかったことは職務怠慢だと思いが、認められた理由は何か。

答 5年を過ぎると、中断措置をしなくても、法的に認めざるを得ないということでございます。

問 「国民健康保険税について、繰上充用はあるべき姿ではないので、一日も早く、健全な状態にして頂きたいものである」というご指摘です

が、対策について強い指摘等はできないか。

答 今から22年度の決算が上がってくる訳ですから、これを参考にしながら改善されるようであれば、それなりにご指摘をさせて頂きたいところのように思います。

問 公営住宅使用料について、調停額が7、026万円、収入額3、417万円、徴収率が48・6%で監査委員のおっしゃるとおり多額の起債をして、徴収はこれしかないが、厳しい指導・指摘ができないか。

答 弁護士等と相談をして、高額滞納者については、行政措置を執るとい段階取りもしているような話を聞いております。22年度の決算を見ながら、そういった面ももう少し詳しく指摘をしていきたいと思っております。



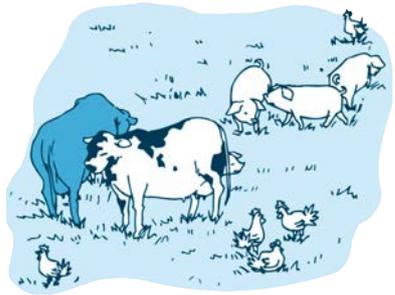
町外からの移住希望に対応できるよう、今後の公営住宅整備、空き家対策が町政運営の要となる。

問 職員の人件費並びにほーら館建設に伴う町債を計上して、ほーら館特別会計として区分するべきと考えますが、そのような意見は出ないものかどうか。

答 この件につきましては、検討させて頂きます。

問 高齢者等肉用牛導入基金30頭が1頭減になって、今29頭になっていすけれども、15頭が不明であるというようなことを私は聞いています。が、しっかりとした監査をして、運用管理状況について正常な基金運用管理と指導ができないか。

答 このことについては、さらに調査をしまして、指導をさせて頂きたいと思っております。



《自主的な町財政の健全化努力について》



上木議員

問 平成22年12月定例会に引き続き財政問題について質問します。

今後10年間の町財政状況の見通しシミュレーションでは、財政危機が差し迫っている深刻な事態にある。この現状をどう認識し、どんな処方せんに対処していく考えか。

答 徳之島ダムが平成27年から通水開始となります。この地元負担金が5%で約9億円です。これを借入して一括返済を行い起債で年次償還していけば償還金が急激に増高することはありません。顧問弁護士も頼んであり、法的処置も執りながら自主財源確保のため努力をしていきます。財政シミュレーションした結果、伊仙町が起債許可団体に陥ることはないと思っております。

問 伊仙町財政健全化判断の「比率・指標」算定の基となるその数値は、標準財政規模（町民税+普通交付税+地方譲与税の合算額）である。こ

れが伊仙町の通常収入総額ともなる。この標準財政規模を分母にして伊仙町の財政健全化判断指標が算定される。平成21年度決算による標準財政規模は幾らであったか。又、将来負担額は幾らで、標準財政規模の何倍になるか。

答 平成21年度決算における標準財政規模は34億583万3千円です。将来負担額は117億7千68万2千円です。将来負担比率は171・1%であります。伊仙町の標準財政規模の3・45倍になります。

問 大久保町政が誕生した平成13年は、バブル経済が崩壊して日本経済が減量経営、デフレ不況に落ち込んで、減量均衡経済の続くその時代背景に逆行した公共投資が行われた。その起債償還が向う10年間毎年9億円台で続く事になっている。財政健全化の目処を今つけるべきでないか。

答 学校が4校改築しなければならぬ状況でありました。「ほーら館」は町づくり交付金事業という新しい補助事業があったので思い切つて断行したことであります。一応、大型公共事業も一段落したので次世代に負担を残さないためにも、どうしたら良いかを考えなければなりません。

ん。税収を増やすためにも農業生産額50億〜60億に増産し、民泊・百菜・ほーらい館・観光事業など活性化して外貨を稼ぎ、町民所得の増収につなげられる政策を実行します。



農業生産額50億円達成に向けて起爆剤になることが期待される直売所「百菜」。

問 財政の現状は先送りできない、差し迫った問題になっているのに皆のんびりしている。職員で財政健全化プロジェクト。エクストリームでも立ち上げ、今年度中に財政健全化委員会のような官民組織で町民の英知を結集して実効性ある具体的取り組みをする考えはないか。

答 財政についての危機意識が十分でないと思います。課長会でしっかりした計画を立て全職員に知らしめていきます。委員会につきましても平成22年度当初で設立する予定でありましたが基地問題で忙

しく、立ち上げられずにおりました。町民有識者を含め、議会の皆さんと共に委員会を立ち上げ財政のよりよい運営方向付をしてまいります。



福留議員

《各種補助事業について》

問 全国的に補助事業のカットや削減が行われ、あるいは奄振予算の3割削減等、厳しい情勢の中、22年度現在どれ位の補助事業をどのようにして国・県から獲得しているのか。

答 国・県あわせて106件、13億4、500万円が現在の補助事業額となっております。国からの予算獲得に関しては、一括交付金という流れになっていきます。そうした場合に、何が一番大事かという点、その自治体の政策立案能力、個々の職員の能力の結集した力があるかどうか、重要な要素となります。国や県に対し、この地域の為に、何が一番効果があるのか、優先順位で何が一番大事なのかという事を示していく必要があります。「あの伊仙町に任

せたら良い政策をしてくれる」と思わせるような提案を粘り強く行うよう指導しています。

《商工振興について》

問 町外への人やモノ、さらには金の流出、これらの防止策の一環として、大型スーパーや飲食店、葬儀場の誘致などは考えられないものか。

答 過去に大手スーパー等の誘致活動もありましたが、立ち消えになった経緯もあります。12月議会において、企業誘致条例の制定をして頂いており、今後Aコープ等の企業誘致ができればと思っています。

葬儀場建設については、現在のところ、奄美群島内において、公的機関による運営というのは見当たらないのですが、今後こういったものも調査研究していきたいと思っています。

《教育行政について》

問 夏休みの間だけでも、中央公民館、あるいは農高の空き教室を県立図書館の自習室並の快適な環境を整えて、自習室として解放できないものか。

答 現在、伊仙町教育委員会においても、学力向上について学校サイド、また教育委員会サイドにおいて様々な取り

組みを行っています。その一環として、農高跡地への教育委員会事務局の移動が実現できたら、教育ゾーンということになる、学習環境づくりというかたちで実施できるのではないかと考えております。



夏休みが始まり、リニューアルされた公民館の図書室で勉強に励む子ども達。



琉議員

問 住民サービスの向上と綱紀粛正の観点から、町長は各課の仕事のやり方、問題点についてどれだけを把握し、事務改善について職員の提言を求め、声を聞いているのか。

答 職員の提案等については、課内会議で職員の意見を直接聞くような場を持ち、特に昨年からは自己申告書で各課の取り組み課題を提示し、問題点を全て共有し、どう把握し整備していくかを、あらゆる機会を通じて職場の意見を吸い上げる努力をしています。

問 障がい児教育の大島養護学校の分校を農業高校跡地に要望する取り組みにつきましては、伊仙町議会も14名全員で県議会に要望し、23年度の大島郡の議員大会の徳之島提出議題に強く取り組んでいますが、町としては、その後どのように取り組んでいるのか。

答 伊仙町議会がこのことを提案したという事は、今地方分権という大きな流れの中で、議会がチェックだけでなく、政策提案をする時代にな

ってくる中で、大変評価されることだと思っております。教育委員会としまして、徳之島三町の教育長が足並みを揃え、分校誘致の共通理解を図り、南三島の教育長にも働きかけて協力を求めていきたいと思っております。



徳之島農業高校跡地に大島養護学校分校を設置する為、先の郡議員大会で本格的に動き出すことが採択された。

問 幼稚園と保育所の一元化については、国の制度、いわゆる、学校教育施設と児童福祉施設との目的と機能の違いで、一元化をする事は困難であります。規制緩和や地方自治の求められている今日、本町においては、具体的に保育所の教育水準の向上と幼稚園の教育時間の延長はどのようににされているのか。

答 政府の子育てシステム検討会議において、幼保一元化は、7月を目前に原案を作成し、平成24年3月の告示、25年度の新システム以降

に施行の予定です。本町においては、子育て支援の一環として、昨年9月から幼稚園の預かり保育を始めたところで、現状については、面縄幼稚園が11名、伊仙幼稚園が19名、犬田布幼稚園が12名、職員2人が交替制で行っています。

問 農業経営の安定化対策には、町行政も取り組んでいますが、国の農政対策、農家個別所得補償制度や新たな農村基本計画が策定され、6次産業化の高まりが、伊仙町の農政にも反映されなければなりません。本町の6次産業の取り組みについて具体的にどうされているのか。

答 平成22年度3月の閣議で、6次産業化の閣議決定がなされ、国会にて法案が議決され、本町においては、10戸の農家が実践しています。農林水産物WP生産し、加工・販売までを行う取り組みで、黒糖、黒豚、黒ニンニク、黒ごま、亜熱帯果樹等の生産体制の確立を早急に行い、23年度は計画的には5年を目標に、定員を定めて、生産技術や運営方法を学べる6次産業者育成塾を開講してまいりたいと思っております。

問 国の財政難にあつて、道路整備事業が見直しと削減の

流れにあつて、本町も道路整備の過疎・辺地対策事業の休止を余儀なくされていますが、昭和30年代に建設された道路が未改良工事、未舗装工事のままありますが、町はどれだけ把握し、対策・対応しているのか。

答 平成22年12月現在、町道356路面、全長30万6、098m中、改良工事済みが75・5%、舗装工事済みが74%となつております。道路整備に対する要望はまだまだまだ多く、指摘を受けました30年代道路につきましては、緊急度を要するものについては、補修を行い、大掛かりな改良工事につきましては、来年度以降、悪い地区から順次改良を進めてまいります。

問 住みよい環境、クリーンな町を目指す本町において、住民のごみ分別意識は広域ゴミ処理場の建設から10年の中に、分別意識や不法投棄のモラルは高まっていますか、現状はどうなっているのか。また、昨年度の事業による、ゴミの分別の徹底指導での廃プラスチック油化装置事業のその後の取り組みと現状はどうなっているのか。環境整備が世界自然遺産登録に向けた大きな取り組みに、地域経済の活性化を図り、今後の地域力

の強化には大久保町長はどのような対策を考えているのか。

答 現状については、山林等での不法投棄が年間26t、海岸37t、以前と比べるとかなり減っているのは確かで、海岸や山林の清掃員を現在4人で、23年度は3人増やし常時パトロールを強化推進していきます。廃プラスチック油化装置事業につきましては、22年3月に実証実験、その後4月から稼働しましたが、7、9月に故障、精製を中断した経緯があり、機能はしていませんが、拡大できている状況ではございません。



明石議員

問 相変わらず混迷を続ける日本経済、悪化する雇用状況のなかで先行き明るい話題が見えてきません。そういう時、私たち伊仙町がとるべき道は、財政規律を守り、歳出削減を断行することと思えます。経常収支比率や、公債費比率等の増加により、伊仙町の財政状況は極めて厳しく、予断を許さない状況であります。それぞれの事業を見直

し、公債費等の削減を図り、また新規事業を実施するにあたっては、事業の総点検を行い、財政の健全化に努める必要があると思えますが、町長の見解を伺います。

答 公債費、将来負担を下げるといふこと、またはこれからも町のいろんな事業は優先順位を決めてやっていくというところは、過疎・辺地債の中で述べたとおりでございます。今後は大型事業をやる状況でないの、公債費、将来負担は下がっていくと思っております。

問 施政方針のなかで、人口の増加する町として、U・I・ターナー者の定住が可能となるような安心して暮らせる環境づくりのため住宅対策、空家対策を整え支援しますとありますが、空家対策は何軒計画して、何軒運用しているか伺います。

答 伊仙町はずっと徳之島三町の中でも人口の減っていく割合が多かったが、それは島内から島内にある人口が、特に徳之島地区に相当流出していたと。その方達が、アクセス整備されて、ほーらい館ができて、伊仙町に大型店舗とか住宅政策をやつていけば、私は間違いなくまた戻ってくるというふうな大きな目標を立てております。

問 子育て支援出産祝い金について、他町村と比較してどうなのか伺います。

答 他の自治体よりも多額で、まったくやっていない自治体がある中では、前向き政策だと思っています。

問 ほーらい館の町外者の無料バスの利用はコスト増にながらないか、またほーらい館は多額の借金、すなわち町民の税金で建設されており、更なる町民負担にならないか伺います。

答 コストをかけても宣伝効果もあるわけですし、それ以上の効果がバスにあるんじゃないかと思っております。

問 ほーらい館と保健センターを合併できないか。

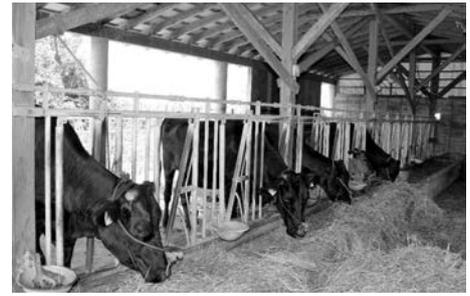
答 早ければ、来年度指定管理者制度を導入する予定があり、そうなった場合に意思統一が困難であり、制度上不可能だと思います。

問 高齢者肉用牛導入基金で導入された牛の管理が適正に管理されているのか伺います。

答 平成23年2月現在の貸付状況についてご報告します。貸付件数29件であります。29件中健全貸付12件、停滞状態17件、すなわち適正に管理がされていない状態でありま

す。

す。



本町は、顕著に肉用牛飼養頭数・戸数が右肩あがり
で推移しているが、町による安定的な導入事業の運
営が、農業所得額に大きく影響していく。

問 財産管理について伺います。道路整備等で財産購入されていると思いますが、管理は適正に行われているか伺います。

答 平成22年度道路用地として21件住宅地として2件土地購入しております。住宅地については、補助金請求のため登記済、道路用地については、申請中である。しかし、喜念浜のログハウスについては、私有地に立てられており、今後の課題であります。さらに、駐車場についても町有財産として登記をして、管理が出来るか疑問であります。

問 緊急患者輸送について伺います。ヘリ搭載型巡視船を奄美地方に配備するよう陳情ができないか。また、沖繩基

地からヘリが来て鹿兒島へ行くような体制、そして病院を選択できるシステムを構築していただきたいと思えますが、町長の見解を伺います。

答 町村会全員で、再度要望に行こうという話が決定したばかりであります。柔軟な対応ができるよう、要請していきたいと思えます。



伊藤議員

《ほーらい館の運営について》

問 館内で安全面の指導、また機具等の点検「かかり湯・スチームサウナのドア、女性湯の水風呂の手摺り設置等」、修理箇所はどのようになっているのか。

答 設備機具等の主な点検、ボイラーや発電機、ポンプ関係のものにつきましては、有資格者に委託をして、点検を行って予算措置をしてございます。簡易な施設内修繕、使用中に色んな修繕をする箇所が出てきます。そういったものは当館の修繕費等で対応しているところでございます。

《建設行政について》

問 空家対策、各集落内の道路整備等の計画と見通しは。

答 空家対策については、長寿命化計画を策定中でございます。今後、民間住宅の賃貸契約がスムーズに進みましたら、すぐにでも空家対策はできると思えます。道路整備は、検討委員会を設け、緊急度が高い所から順次整備については進めて行かなければならないと考えております。

《環境行政について》

問 住みよい環境、クリーンな町を目指しているという事ですが、5月25日は、伊仙町で郡の議員大会が開催されます。観光地周辺での不法投棄が見受けられますが、撤去処理の計画等はあるのか。

答 平成12年の4月に伊仙町放置自動車等放置防止条例と言うのが出来まして、その中で、放置自動車を見つけたらすると、放置自動車判定委員会というのを組織しまして、自動車の状況調査を行い、緊急を要する場合は、事後報告なり、環境課の方で処理するようにしているところでございます。

《農業振興について》



町内の至る所に見受けられる不法投棄。これらを解決するための改善策を町と町民が一体となって見出すことが望まれる。

問 農業生産所得向上を図るには、農産物の品目別に防風対策、鳥獣被害防止対策が必要とされますが、対策の手だては考えられないのか。

答 平成23年度においては、防風ネットあるいは、防風ネットの支柱を共同購入というかたちを計画しております。鳥獣被害の対策としては、恒常的な被害ということで、カラスとイノシシがありますけれども、カラスに対して23年度、捕獲かごを2箇所を設置する予定です。

《建設行政について》

町民の皆様へお願い

～開かれた議会を目指して～

伊仙町議会では、町民の負託に応えるべく、町行政の監視・チェック機能はもとより、町政発展を合言葉に、これまでより強固な姿勢且つ迅速な対応を目指し、伊仙町のあらゆる議案等を議会の場で執行部と真剣に審議しております。

町民の皆様もぜひ本会議場へお越し頂き、私たちと明るい町づくりをしていきませんか。皆さんの傍聴を心よりお待ち申し上げております。

伊仙町議会



～今後の議会予定～

①平成23年9月（第3回定例会）

主な内容：平成22年度一般会計予算他特別会計決算審査
伊仙町行財政調査特別委員会
陳情案件審議 他

②平成23年12月（第4回定例会）

主な内容：予算等に関する案件
伊仙町行財政調査特別委員会
陳情案件審議 他

以上を予定しております。詳しい日程・内容は議会事務局まで御連絡下さい。

（お問い合わせ先）

伊仙町議会事務局 TEL0997-86-3111（内16）

議会のうごき

平成23年2月

4日 徳之島三力町議会議長連絡協議会役員会
（徳之島町議会議員会室）

5日 伊仙小学校新校舎落成記念式典・祝賀会（ほーらい館）

9日 第一回伊仙町臨時会告示 鹿児島ブロック奄美大会
in 徳之島 支援協議会準備会（天城町役場）

14日 第一回伊仙町臨時会 総務文教厚生常任委員会調査
経済建設常任委員会調査
（本会議場ほーらい館県道未改良区間）

18日 徳之島三力町議会議員大会（徳之島生涯学習センター）

24日 第62回定期総会（奄美市）

27日 「金子万寿男を激励する会」（鹿児島市）

3月

1日 市町村議会議長会 市町村長合同会（奄美市）

2日 第一回定例会告示

3日 議会運営委員会 広報編集委員会（議会委員会室）

3日 関西徳洲会創立60周年記念大会（兵庫県尼崎市）

4日 春植え出発式（JAあまみ）

8～18日 第一回伊仙町議定会定例会（本会議場）

15日 町内各中学校卒業式（各中学校）

24日 町内各小学校卒業式（各小学校）

28日 町内道路拡張に関する要望書提出
（大島支庁徳之島事務所）

4月

4日 町内行政視察・行財政調査特別委員会に関する
打ち合わせ（議会委員会室）

6日 町内各小・中学校入学式（町内各小・中学校）

7日 地福徳之島33ヶ所巡り開山式（なごみの岬公園）

7日 第44回戦艦大和を旗艦とする特攻隊戦没将士慰霊祭
（天田布岬）

12～13日 町内行政視察（町内一円）

14日 議長・事務局長合同会（奄美市）

22日 議員大会終了後行政視察打ち合わせ（議会委員会室）

22日 地域女性連絡協議会総会（中央公民館）

26日 伊仙町議会による奉仕作業（町内観光地）

28日 県政説明会・県庁奄美委員会との懇談会（鹿児島市）

29日 海ひろさ（瀬田海水浴場）

5月

9日 離島関係町村議会議長研修会（鹿児島市）

9日 常任委員会研修会（鹿児島市）

11日 行財政に関する単独研修会（鹿児島県自治会館）

16日 徳之島中央家畜市場落成式（徳之島中央家畜市場）

17日 伊仙町議会による議員大会会場清掃（徳之島農業高校）

18日 防犯協会監査会（徳之島警察署）

18日 第37回鹿児島ブロック大会in徳之島

23日 支援協議会設立会議（徳之島町役場）

24日 伊仙町議会による議員大会会場設営（徳之島農業高校）

25日 議員大会開催記念歓迎開牛大会（東目手久闘牛場）

26日 第54回奄美群島市町村議会議員大会（徳之島農業高校）

26日 議員大会終了後行政視察（町内一円）

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

3月11日に発生した東日本大震災の被災地の皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

「がんばろう日本・がんばれ日本」を合言葉に、多くの国民が一日も早い復興を願っていることと思います。しかしながら、福島原発事故は深刻であり、その被害は全国に広がりがつづいています。にも関わらず政府の対応は、あまりにも遅すぎ、国政に対する国民の目は厳し。

高度経済成長時代は、現在の厳しい現状を誰が予想、予測できたでしょうか。自然か人災か、東北地震は、現代日本に追い打ちをかけるがごとく、悲惨であり、悔やまれます。しかし、私たちの先人はどんな苦しみにも耐え、時代を築いてきたのです。私たちもこのことを教訓に、頑張らなければならない。決して悲観的であってははいけません。

女子ワールドカップ優勝のなでしこジャパンのメンバーや大相撲の魁皇関の大記録等々は、私たちに勇気と希望と感動を与えてくれました。

今伊仙町は、どこの町村よりも光輝いています。一人一人の町民の皆さんが自信と誇りを持って、前向きに取り組んでいる姿こそが、伊仙町発展につながっているのです。今後も町民の声が反映できる町政を目指して日々努力してまいります。

議会に対してのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。
（文責 美島 盛秀）

広報委員会

委員長 美島 盛秀

副委員長 清水喜玖男

委員 琉（理人）

委員 前 徹志

委員 伊藤 一弘